

第4課 このりんごは一ついくらですか

大切な表現

1. うな重はいくらですか。
2. りんごはいくつありますか。
3. コーヒーを三つください。
4. カレーライスの一つとステーキを二つください。
5. 大根は2本で350円です。

Can-do/学習目標

- ・物の値段を聞いて買い物をしたり、レストランなどで注文することができる。

文法項目

1. ～はいくらですか
2. ～はいくつありますか
3. ～を＋〔数詞〕＋ください
4. 〔数詞〕
5. N1を〔数詞〕とN2を〔数詞〕ください
6. ～は〔数詞〕でいくらですか

導入

1. ～はいくらですか

- ①板書「0～10」
- ②第1課で学習した「0～10」を復習する。
- ③板書

	1	10	11	20
日本語	いち	じゅう	じゅういち	にじゅう
中国語	一	十	十一	二十
英語	one	ten	eleven	twenty

- ④「10」以上の数字の読み方は基本的に中国語の数字の読み方と同じ系統と説明する。
- ⑤0～99までの2桁の数字の読み方を練習する。
- ⑥千、万、百万、一千万の数字の読み方を練習する。
- ⑦カードや足し算などのタスクを使い、「1億」まで練習させる。
- ⑧板書



	通貨単位	読み方
日本	～円	～えん
台湾	～元	～(たいわん)げん
アメリカ	\$～	～ドル
ヨーロッパ	€	～ユーロ

⑨日本を含め、幾つかの国の通貨単位の読み方を紹介する。

⑩板書 A:それはいくらですか。

B:これは700円です。



⑪上記のような値段が書いてあるカードを準備し、練習をする。

2. ～はいくつありますか

①板書「1:ひ、2:ふ、3:み、4:よ、5:いつ…」

②1～10の和語の読み方を紹介する。

③まずは、「一つ～五つ」、そして「六つ～十」と分けて教える。

④机の上に消しゴムや磁石を並べ、「一つ、二つ…」と数える。

3. ～を+**数詞**+ください

5. N1を**数詞**とN2を**数詞**ください

①板書「コーヒーを三つください」(**名詞**+を+[**数詞**]+**動詞**)

②上記の順番を覚えてもらい、**名詞**や[**数詞**]を入れ替える。

③板書「カレーライスの一つとステーキを二つください」(**名詞1**+を+[**数詞**]+と+**名詞2**+を+[**数詞**]**動詞**)

④上記の順番を覚えてもらい、**名詞**や[**数詞**]を入れ替える。

4. 数詞

① p76～77 **4:数詞**の説明をしたら、p72 練習7を参考にしながら絵カードを使用し、下記のように異なる助数詞の練習をする。

②板書 A:これは傘です。

B:「本(助数詞)」。

A:これは犬です。

B:「匹」です。

③数量のカードを準備し、下記のように助数詞の練習をする。

④板書 A:これは本です。

B:1冊です。

A:これは傘です。

B:3本です。

⑤数量のカードを準備し、下記のように疑問詞の練習をする。

⑥板書 A:(4冊の本のカードを見せる)何冊ですか。

B:4冊です。

A:(1本の傘のカードを見せる)何本ですか。

B:1本です。

6. ～は[**数詞**]でいくらですか

①板書 A:**えんぴつ**は1本いくらですか。

B:(**えんぴつ**)は1本50円です。

A:**えんぴつ**は2本でいくらですか。

B:(**えんぴつ**)は2本で100円です。

- ② p 77～78 「6 : ～は〔数詞〕でいくらですか」の説明の後、**名詞**や〔数詞〕を入れ替える。
- ③ レアリア（レストランのメニューや広告など）を準備して練習をしたり、学生がお互いの所有物の値段を聞いたりして練習をする。

教え方のワンポイント

1. ～はいくらですか

練習 1 数字（2）

- * 「1」は第1課にも出てきたが、「1 : いち←い」の発音に注意する。
- * 「0」は第1課にも出てきたが、「0 : ゼロ←れろ」の発音に注意する。
- * 「4」、「7」、「9」は第1課にも出てきたが、2通りの読み方があると説明する。
- * 「10」以上からは「4」、「7」、「9」は、「4 : よん」「7 : なな」「8 : きゅう」となると伝える。
- * 「11 : じゅういち←じゅうい」の発音に注意する。
- * 「20 : にじゅう」と「21 : にじゅういち←にじゅいち」の発音に注意する。
- * 「100」は、1を発音して「いっぴやく」ではなく「ひやく」と読むと教える。
- * 3桁の数字では「～ひやく」「～びやく」「～っぴやく」の3通りの読み方があると説明する。
- * 「1000」は、「せん」「いっせん」のどちらでも良いと教える。
- * 4桁の数字では「～せん」「～ぜん」「～っぜん」の3通りの読み方があると説明する。

練習 2 値段の言い方

- * 「4円」の読み方は、「よんえん」「しえん」ではなく「よえん」と伝える。

練習 3 ～はいくらですか

- * A「うな重はいくらですか。」B「(うな重は) 1800円です。」の対話で、重複する部分「(うな重は)」は省略できると説明する。



応用練習

- * 店員と客とに分かれ、買い物の練習をしてみましょう。
- * レアリア（レストランのメニュー）を使用し、練習をしましょう。

2. ～はいくつありますか

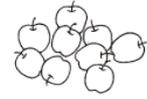
練習 4 数詞（1）

- * 1～10の和語の読み方を紹介すると、覚えやすくなる。
- * まずは、「一つ～五つ」、そして「六つ～十」に分けて教えると学生の負担が少ない。
- * 「四つ : よっつ」と「八つ : やっつ」は読み間違えが多いので注意を促す。

- * 「五つ：いつつ←いつ」「十つ：とお←とおつ」の発音に注意する。
- * 10以上の数字は、p67 練習1の読み方のままであることを伝える。
- * 覚えることが多いが、この学習段階では「話せる」「聞ける」だけで十分だと伝える。

練習5 ～はいくつありますか

- * 数字入りの絵カードを使用し、読み方を定着させる。
- * A「りんごはいくつありますか。」B「(りんごは) 九つあります。」の対話で、重複する部分「(りんごは)」は省略できると説明する。



りんご

3. ～を〔数詞〕ください

5. N1を〔数詞〕とN2を〔数詞〕ください

練習6 ～を〔数詞〕ください

N1を〔数詞〕とN2を〔数詞〕ください

- * 「一つ、二つ…」は物を数える時だけでなく、レストランなどで食べ物や飲み物などを注文する時にも使えると説明する。

会話1

- * 「ご注文は？」の意味と接頭語「ご」の使い方を説明する。(其他文法事項1)
- * 「わたしは天井。」＝「わたしは天井です。」と「わたしは学生です。」の文型は異なることを説明する。「わたしは天井(を一つください。)」の意味だと教える。



4. 数詞

練習7 数詞(2)

- * 数量によって、濁音、半濁音や促音になる助数詞があることを伝える。

5. ～は〔数詞〕でいくらですか

練習8 ～は〔数詞〕でいくらですか

- * 対象によって、異なる助数詞を使用することを伝える。
- * 買い物の会話に夢中になり、助詞を間違ふ場合があるので、注意を促す。



会話2

- * 指示代名詞の使い方を再度復習する。(其他文法事項2)
- * 「1000円をお願いします。」の助詞「で」の使い方を説明する。(其他文法事項3)
- * 「～円のお返しです。」と「～円のお釣りは。」は同じ意味だと教える。